

## 九州工業大学と岡野バルブ製造 地域発のディープテック実装モデル構築へ包括協力協定を締結 ～「クロスアポイントメント制度」を活用したエンジニア人材による伴走支援と物理的な 開発環境の提供で、地域産業の発展に直結する新たな産学連携の形を目指す～

国立大学法人九州工業大学（本部：福岡県北九州市、学長：三谷 康範、以下「九工大」）と岡野バルブ製造株式会社（本社：福岡県北九州市、代表取締役社長：岡野 武治、以下「岡野バルブ製造」）は、大学発ベンチャーの創出・育成およびディープテックの社会実装と地域産業の持続的な発展を目指して包括協力協定（以下「本協定」）を2026年1月1日に締結しました。本協定の締結を機に今後、大学発ベンチャーの創業・事業化・顧客開拓まで一気通貫による新しい産学連携モデルの形成に向け、以下の施策を中心とした取り組みを進めてまいります。



### 1. 両者の特色、および、協定締結の目的について

全国の地方都市において、大学が持つ高度な技術シーズをいかに地域産業の活性化に結びつけるか、が共通の課題となっています。

工学・情報系に特化した研究を展開する九工大は、地域に根付く国立大学としてこれまでに数多くの人材を送り出すことで産業界に寄与してきました。令和7（2025）年度文部科学省「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）」（\*1）の採択校として、学内のさまざまな研究シーズを基盤に社会実装へ結びつける取り組みを推進しています。

一方、発電プラント用高温高圧バルブの製造やメンテナンスなどの事業を展開する岡野バルブ製造は近年、DX・ロボティクスなどの新規事業を推進する一環でディープテックスタートアップとの協業を押し進めてきました。2026年11月には創業100周年を迎え、「次の100年」を見据えて地域に根ざす企業としての役割を再定義し、さまざまなプレーヤーとともに歩む活動に注力しています。

本協定は、両者の特色を生かして大学発ベンチャーの創業・事業化・顧客開拓までコミットすることで、研究シーズを迅速に産業へと昇華させるエコシステムの形成を目的としています。クロスアポイントメント制度（\*2）の活用によるエンジニア人材の派遣を軸に、岡野バルブ製造が保有する施設の開放や地域産業界とのネットワーク構築などの施策を通じ、「モノづくりの街」として集積してきた北九州の地で大学の知と地場企業の力の融合による新たなロールモデルの形成を目指します。

## 2. 連携事項と具体的な取り組み

今回の協定締結を機に双方のリソースを活用し、新たな大学発ベンチャーの創出に向けて以下の取り組みを実施します。

### (施策①) クロスアポイントメント制度による事業開発のハンズオン支援

今回の協定ではクロスアポイントメント制度(\*2)を活用し、岡野バルブ製造の社員が九工大の出資担当兼スタッフを兼務します。主に AI・ロボティクス領域の研究室に対して技術シーズの目利きから事業計画策定、産業界へのトップセールスまで、一体となって伴走し、事業化の当事者として学生の取り組みを後押しします。各地でクロスアポイントメント制度による企業と大学との連携は徐々に進みつつありますが、九工大は岡野バルブ製造とともにビジネスの領域に入り込んだ実践的な取り組みを展開します。



同制度によるレクチャーのイメージ

### (施策②) 岡野バルブ保有施設の開放と地域産業界とのネットワーク構築

岡野バルブ製造が保有する施設（旧岡野商事ビル等）を、ハードウェア開発や実証が可能なインキュベーション拠点として提供します。物理的な開発環境とモノづくりの街として産業が集積している北九州の利点を両輪で生かし、地方にしながら都市部のベンチャーに負けないスピードでの社会実装を目指します。



岡野商事外観

## 3. 今後の展望

両者は本協定を通じて大学の先端技術が地域社会に実装され、新たな産業として根付く流れを定着させます。産学一体となって挑戦する土壌を作ることによって地域の持続的な発展に貢献するとともに、新たな地域創生モデルの確立し、地域経済を牽引する次世代の産業構造を構築してまいります。

また、クロスアポイントメント制度を活用した取り組みをはじめ、本協定に関する今後の経過や実績についても今後、ご報告の機会を設けたいと考えておりますのでお問い合わせのほどお待ちしております。

### ▼九州工業大学について

1909年開校の私立明治専門学校を起源とし、「技術に堪能なる士君子」（技術に精通するだけでなく道義心のある人格者）の育成を理念に、優れた技術者を輩出してきました。福岡県内3キャンパスで約5,800名が学び、宇宙開発（教育機関における小型人工衛星の運用数8年連続世界1位）やロボティクス（自律型ロボットの世界大会7回優勝）などの世界的成果を挙げています。今後の更なる飛躍を目指し、「九州工業大学ビジョン2040- Impact the Next Industry-」のもと、世界にインパクトを与えるイノベーション創出大学となるべく取り組みを進めています。

|       |   |
|-------|---|
| 名 称   | 国立大学法人 九州工業大学   |
| 所 在 地 | 福岡県北九州市戸畑区仙水町 1-1   |
| 代 表 者 | 学長 三谷康範   |
| 開 校   | 1909 年  |
| U R L | <a href="https://www.kyutech.ac.jp/">https://www.kyutech.ac.jp/</a> |

#### ▼岡野バルブ製造について

発電プラント用高温高圧バルブの製造・メンテナンス事業を基盤に、DX・ロボティクス・地域創生などの取り組みを展開。100年先を見据え、企業としての役割を超えて社会や人々に与える活動を通じて希望を生み出す「意味価値」を追求するポスト資本主義経営にも取り組んでいます。

|         |   |
|---------|---|
| 名 称     | 岡野バルブ製造 株式会社  |
| 本社所在地   | 福岡県北九州市門司区中町 1-14   |
| 代 表 者   | 代表取締役社長 岡野武治  |
| 創 業     | 1926 年 11 月 3 日   |
| 事 業 内 容 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発電用高温高圧バルブの開発・製造・保守その他工業製品の受託生産</li> <li>・ 工業プラントにおける各種工事</li> <li>・ 研究開発の受託</li> <li>・ DX の実施・支援</li> <li>・ 産業振興、地域振興の実施支援</li> </ul> |
| U R L   | <a href="https://okano-valve.co.jp/">https://okano-valve.co.jp/</a>   |

#### (\*1) J-PEAKS

地域の中核大学や研究の特定分野に強みを持つ大学を対象に、研究活動の国際展開や社会実装の加速などによって研究力強化を図るための環境整備を支援する事業。九工大は令和7年度から5年間の採択を受けている。

#### (\*2)クロスアポイントメント制度

研究者などの専門家が、大学や企業など2つ以上の機関に雇用され、それぞれの機関で研究開発や教育などに従事できる仕組み。

#### 【お問い合わせ】

##### 国立大学法人九州工業大学

(本協定に関するお問い合わせ)  
 イノベーション本部研究企画課研究企画係  
 E-mail: ken-kikaku@jimu.kyutech.ac.jp  
 (広報に関するお問い合わせ)  
 管理本部総務課広報係  
 E-mail: pr-kouhou@jimu.kyutech.ac.jp

##### 岡野バルブ製造 株式会社

(本協定に関するお問い合わせ)  
 経営企画室：下田  
 E-mail: tomohiro-shimoda@okano-valve.co.jp  
 (広報に関するお問い合わせ)  
 経営企画室：高田  
 E-mail: kouhou@okano-valve.co.jp